

2025 年 5 月 28 日

各 位

株式会社北洋銀行
株式会社北海道共創パートナーズ

チームで使う共有地図「LivMap」を開発した株式会社はんぽさき様に 北洋 SDGs 推進 3 号ファンドを通じて出資致しました

株式会社北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)、株式会社北海道共創パートナーズ(代表取締役社長 岩崎 俊一郎)は、2025 年 4 月に株式会社はんぽさき様(本社:東京都 代表:小林 俊仁様)に「北洋 SDGs 推進 3 号ファンド(北洋 SDGs 推進 3 号投資事業有限責任組合、以下本ファンド)」を通じて 1,000 万円を出資しました。

当社は、組織やチームのメンバーが地図上で様々な情報を管理・共有化するためのアプリ「LivMap」を開発したスタートアップです。DX 化が思うように進んでいないフィールドワークと呼ばれる、現地における調査・報告業務でのニーズが高く、林業、インフラ管理(除雪・道路・河川・電力)、運送業、観光業、災害対応などで利用されています。スマホに「LivMap」をインストールしてグループを作ることで、メンバー間で現在位置・写真・地点情報・軌跡などが共有可能になると共に、紙・画像データを背景地図として取り込むことができます。

北海道は自治体などの管理する面積が全国よりも大きいという課題があり、また除雪や春先の道路補修など位置情報が重要となる業務が多く、当社は全国のスタートアップと道内自治体を結ぶ行政オープンイノベーションプロジェクト「Local Innovation Challenge HOKKAIDO」にも採択されています。

フィールドワークの DX 化及び北海道特有の課題も解決することが可能な当社事業を高く評価し、本ファンドを通じて出資しました。本件が 6 件目の出資となります。



チーム内の地点伝達や
情報蓄積を簡単に

写真・地点メモ・現在位置・
作業ログなどを地図上で共有

地図データを
スマホで持ち運び

多数の地図を初期から搭載
独自のGISデータも利用可能



以 上



北洋銀行グループは、2018 年 12 月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGs に関連するプレスリリースには、該当する SDGs のアイコンを明示しております。

【SDGs】2015 年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための 2030 年までの国際目標。17 のゴールと 169 のターゲットで構成される。